

第1学年 特別活動 学習指導案

日 時：平成23年9月16日 5校時

場 所：五日市小学校 1年教室

児 童：男子3名 女子5名 計8名

授業者：八重畑 里満

1 題材名 「おじいさん・おばあさんと なかよし びかつ！！」

2 題材の目標

地域の方々（おじいさんやおばあさん）と交流を深めるための活動を仲良く助け合いながら進め、これからも自分たちの手で学級生活を楽しくしようとする力。

3 高めたい力

教科特性に関して	仲良く助け合って話合いをし、進んで学級生活を楽しくしようとする力。
言語活動に関して	<話す> ・自分の思いや考えを相手に伝えようと進んで話す力。 ・相手（友だちや地域の方々）を意識して話す力。 <聞く> ・友だちの考えや話を聞いて、自分なりに反応を示す力。

4 題材の指導について

題材について	「おじいさん・おばあさんと なかよし びかつ！！」は、6月に親子で行った「みんななかよし びかつ！！レク」と、8月に保育園児と行った「ほいくえんのみんなと なかよし びかつ！！」の活動を発展させ、地域の方々と交流を深めることができる題材である。また、この題材を終えた後、生活科の「あきともだち～みんなでのしもう～」の単元へとつなげることができ、学習指導要領の〔第1学年及び第2学年〕学級を単位として、仲良く助け合い学級生活を楽しくするとともに、日常の生活や学習に進んで取り組もうとする態度を育てることができる題材である。
児童について	学級活動における話合い活動では、「代表委員会の話合い」（月の目標の取り組みや反省）を中心に進めてきた。自分の生活を振り返り、よりよく生活するための考えを出し合って取り組んできた。また、「親子レク」や「保育園児との交流活動」では、めあてに沿った内容を考えて出し合い、話合いで決まったことを実践し、振り返りもすることができた。しかし、話合いにおいて、一人一人の考えに対して自分なりに反応を示し、相手に伝え合いながら話合いを進めるところまでには至っていない。
指導について	児童の実態を踏まえ、話合いでは、事前の準備として「自分の考え」と「理由」を用紙に書いて掲示しておいたり、必要に応じて友だちの考えに対して自分なりの思いや考えを用紙に書いておいたりするなど、児童の実態に応じた手立てを考えていきたい。また、常に学級目標と照らし合わせながら活動を進め、児童に目標達成の喜びを味わわせることで進んで学級生活を楽しくしようとする態度を育てていきたい。

5 授業改善に関わって

(1) めあてとふりかえりの持たせ方の工夫	・「めあて」は前回の話合いの振り返りをもとに教師との話合いによって決める。 ・「ふりかえり」では、一人一人が「めあて」に対して自分の振り返りを発表する。
(2) 言語に関する能力が明らかな授業の工夫	・自分の思いや考えを話すことができるように、考えと理由を用紙に書いておく。 ・友だちの考えに対して、自分なりの思いや考えをもつことができるように、事前に「自分の考え」と「理由」を書いた用紙を掲示しておく。 また、必要な児童は、友だちの考えに対しての自分なりの思いや考えを用紙に書いておく。 ・児童の言葉をつなげたり、まとめたりしながら、話合いの内容や方向性を児童に明らかになるように話合いを進める。
(3) 自尊感情を高めるための授業の工夫	・発言するたびにネームシートを貼り、一人一人の思いや考えを大切にす。 ・話合いを進める際に大切にすることの観点（自分の考えを伝える。よい話し方や聞き方をす。友だちの発表をうなずきながら聞くなど。）を定め、児童個々のよさを全体に広められるようにする。

7 本時の指導

(1) 目標

仲良く助け合って話し合いを進めることで、地域の方々（おじいさんやおばあさん）と一緒に「おじいさん・おばあさんと なかよし ぴかっ！！」の活動を楽しもうとする気持ちを高めることができる。

(2) 研究に関わり高めようとする力

<話す>
 ・自分の思いや考えを相手に伝えようと進んで話す力。
 <聞く>
 ・友だちの思いや考えを聞いて、自分なりに反応を示す力。

(3) 展開

段階	学習内容・活動	支援
導入 7分	1 話し合いの内容を確認する。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;">「おじいさん・おばあさんと なかよし ぴかっ！！」であることを話し合おう。</div> 2 めあての確認をする。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;">ともだちの発表にたくさんお話をしよう。</div> 3 話し方と聞き方の確認をする。 掲示を見ながら確認をする。	<ul style="list-style-type: none"> ・進行する児童に声を掛けながら一緒に進める。 ・めあてに向かって話し合いを進めることができるように、掲示を見ながら話し方と聞き方の確認を行う。 ・今までの活動を掲示を見ながらふりかえり、話し合いの方向性を示す。
展開 30分	5 話し合い活動をする。 (1)「たくさんみんなと なかよし ぴかっ！！」の内容について、自分の考えと理由を発表する。 (2) 友だちの考えを聞いて、自分なりの思いや考えを発表する。 (3) みんなの考えをまとめる。	<ul style="list-style-type: none"> ・「自分の考え」と「理由」を書いた用紙を黒板に掲示したり、ネームシートを貼ったりしながら進める。 ・話し合いの状況を見ながら、教師が児童の発表をつなげたり、広めたりしながら考えをまとめるようにする。 ・児童のよいところ（話し方や聞き方など）を全体に広める。
終末 8分	6 活動を振り返る。 (1) 話し合いで決まったことを確認する。 (2) めあてを一人一人が振り返って発表する。 (3) 教師の話を聞く。	<ul style="list-style-type: none"> ・一人一人のめあての振り返りに教師がコメントをし、みんなで認め合う。 ・教師の話でよさを認め、次の活動へ意欲を高める。 ・次の活動の課題を確かめ合う。

<p style="text-align: center;">Y O 女</p> <p style="text-align: center;">【児童の実態】</p> <p>自分の思いや考えをもち、話すことができる。</p>	<p style="text-align: center;">T R 男</p> <p style="text-align: center;">【児童の実態】</p> <p>話題に沿って自分の思いや考えを話すことを苦手としている。人前で恥ずかしがることもある。</p>	<p style="text-align: center;">N Y 男</p> <p style="text-align: center;">【児童の実態】</p> <p>自分の思いや考えを話すまでに時間がかかる。人前で恥ずかしがる。</p>	<p style="text-align: center;">M R 女</p> <p style="text-align: center;">【児童の実態】</p> <p>自分の思いや考えをもち、話すことができる。</p>
<p style="text-align: center;">【手立て】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・児童それぞれの意見を教師と共に確認し、友だちの考えも大切にしながら、自分の思いや考えを話すことができるようにする。 ・友だちの考えを受けて、自分の考えを発表することができた児童を賞賛することで、発表意欲を高めるようにする。 	<p style="text-align: center;">【手立て】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事前に友だちの考えに対しての自分なりの思いや考えを用紙に書いて、話し合いで進んで話すことができるようにする。 ・必要に応じて、話し合いの流れを児童と共に確認しながら話し合い活動を進める。 	<p style="text-align: center;">【手立て】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自分の考えが明確になるように、事前に地域の方々で行いたい活動とその理由を学習シートに記入し、発表する。 ・事前に友だちの考えに対しての自分なりの思いや考えを用紙に書いて、話し合いで進んで話すことができるようにする。 	<p style="text-align: center;">【手立て】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・児童それぞれの意見を教師と共に確認し、友だちの考えも大切にしながら、自分の思いや考えを話すことができるようにする。 ・友だちの考えを受けて、自分の考えを発表することができた児童を賞賛することで、発表意欲を高めるようにする。
<p style="text-align: center;">M E 女</p> <p style="text-align: center;">【児童の実態】</p> <p>自分の思いや考えをもち、話すことができる。</p>	<p style="text-align: center;">Y S 女</p> <p style="text-align: center;">【児童の実態】</p> <p>自分の思いや考えをもち、話すことができる。しかし、人前では恥ずかしがることもある。</p>	<p style="text-align: center;">K R 男</p> <p style="text-align: center;">【児童の実態】</p> <p>自分の思いや考えをもち、話すことができる。しかし、人前では恥ずかしがることもある。</p>	<p style="text-align: center;">O S 女</p> <p style="text-align: center;">【児童の実態】</p> <p>話題に沿って自分の思いや考えを話すことを苦手としている。</p>
<p style="text-align: center;">【手立て】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・児童それぞれの意見を教師と共に確認し、友だちの考えも大切にしながら、自分の思いや考えを話すことができるようにする。 ・友だちの考えを受けて、自分の考えを発表することができた児童を賞賛することで、発表意欲を高めるようにする。 	<p style="text-align: center;">【手立て】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・児童それぞれの意見を教師と共に確認し、友だちの考えも大切にしながら、自分の思いや考えを話すことができるようにする。 ・必要があれば、事前に友だちの考えに対しての自分なりの思いや考えを用紙に書いて、話し合いで進んで話すことができるようにする。 ・友だちの考えを受けて、自分の考えを発表することができた児童を賞賛することで、発表意欲を高めるようにする。 	<p style="text-align: center;">【手立て】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・児童それぞれの意見を教師と共に確認し、友だちの考えも大切にしながら、自分の思いや考えを話すことができるようにする。 ・必要があれば、事前に友だちの考えに対しての自分なりの思いや考えを用紙に書いて、話し合いで進んで話すことができるようにする。 ・友だちの考えを受けて、自分の考えを発表することができた児童を賞賛することで、発表意欲を高めるようにする。 	<p style="text-align: center;">【手立て】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・掲示してある友だちの考えや理由を事前に見ておくことで、話し合いで友だちの考えに対して自分の思いや考えを話すことができるようにする。 ・必要に応じて、話し合いの流れを児童と共に確認しながら話し合い活動を進める。